



## ◇ごあいさつ ～校長 河合和夫～ ◇



明けましておめでとうございます。令和8年1月6日(火)より、50日間(3年生は49日間)の3学期がスタートしました。始業式当日は、どの生徒も元気な様子で、嬉しく思うと同時に、2026年が明るい年になることの期待を持つことができました。始業式では生徒の皆さんに向け、主に以下の話をさせていただきました。

### ①今年の干支について

今年の干支は午(うま)年です。干支とは、12種類の動物にその年をなぞられた「十二支」と、もともと中国で1～10まで数えるために使われた言葉「十干(じっかん)」が組み合わされたものです。その中で今年は「丙午(ひのえうま)」という60年に1度の干支となります。この丙午はかつて「この年に生まれた女性は気性が荒い」と

という言い伝えがありましたが、科学的根拠はありません。それどころか「丙(ひのえ)」は太陽の火を意味し「午(うま)」も火の力を持つ強い存在を意味します。これらが合わさり「丙午の年」は情熱や行動力が高まり、勢いのある1年になると考えられています。

### ②3学期の学校生活について

3学期は50日間(49日間)と、1年で最も短い学期です。しかし、その中身はぎっしりと詰まっています。

- ・1年生は来年度には2年生になります。その準備として「先輩になる・後輩の手本となる」という心構えを持ちましょう
- ・2年生は来年度に控えた「修学旅行の準備」や「最上級生になるという意識」を高めなければなりません。ぜひ、それぞれの活動に目標を持ちましょう

※1・2年生の皆さんには、今後進路決定を控えた3年生を全力で応援をしてください。皆さんで、3年生が全力で進路決定に向けて力を発揮できる、学校の雰囲気を作っていきましょう

- ・3年生はいよいよ進路決定の時です。「受検は団体戦」という意識を持ち、クラス全員・学年全員が同じ思いで勉強する雰囲気をつくることで、一人一人の力を最大限発揮でき、希望の進路実現に近づきます。体調管理に十分気を配り、頑張りましょう。

2026年も、浜名中の生徒は各方面で活躍してくれるものと期待するとともに、これからもさらなる成長を目指してまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様の浜名中の教育活動へのご理解・ご協力をお願いします。

本年も何とぞ、よろしくお願い申し上げます。



## ◇校内書き初め展示◇

冬休みの課題でもある「書き初め」を各教室で展示されました。題字は、1年生「清らかな川」、2年生「豊かな自然」、3年生「白雪の富士」です。2学期末から、国語科の授業でも練習を重ねてきた書き初めですが、個々で新年、気持ちを新たに、よりよい作品としてまとめられています。



## ◇百人一首大会◇

1月9日（金）に百人一首大会が行われました。12月から、各クラスで工夫をしながら、百人一首を覚えようと日々、頑張っていました。学年や男女の別なく対戦を行うため、初対面での対戦になることもあります。暗記していた上（かみ）の句が読み始められた瞬間、札を取る生徒の様子が見られました。



## ◇令和8年度の年間計画について◇

令和8年度の年間行事予定については、2月下旬に計画案をさくら連絡網でお伝えします。配信時の計画ですので、日程が変更されることもあることをご承知おきください。

なお、浜名中学校のホームページの「学校づくり」内の「特色ある活動」の中にある「年間行事予定」に、現在、「令和7年度の行事予定」や「日課表」、「月別下校時刻」（部活終了後の完全下校時刻）が掲載されています。